



食品メーカーの皆様のための

# 機能的食品開発講演会

平成26年3月26日(水)午後1:30~4:40

## 緩和される食品の機能的表示

—農水産物と加工食品にも拡大、ポイントは科学的根拠—

アベノミクス第3の矢の中で、食品の機能的表示の緩和が論議されており、来年(H27年)には施行される。そのキーポイントは以下の1. 2項となっている。

- 1 農水産物と加工食品にまで拡大
- 2 科学的根拠、特に専門機関が認めたヒト試験成績が必要

表示緩和に関して各関係機関から出ている現状の情報を紹介し、その重要なポイントについて解説する。

## 機能的表示のための先取り新潟モデル

—柿葉ポリフェノールの取組み—

食品表示緩和新制度を先取り予測して、現在、新潟産平核無柿葉に含まれる柿葉ポリフェノールをひとつのモデルとして取り上げる。その機能的表示のための科学的根拠には、以下1~4の項目が必要となる。

- 1 有効成分の特定と分析法
- 2 一日摂取目安量
- 3 専門機関が認めたヒト有効性試験
- 4 食経験および安全性

これらの項目の取組み方法について、具体的に解説する。

■講師:新潟薬科大学 客員教授 平山 匡男 氏

■定員:先着 100名

■会場:新潟薬科大学 3F B303講義室

参加費  
無料

事前  
申込制



主催:新潟バイオリサーチパーク株式会社

住所:新潟市秋葉区東島316-2 TEL:0250-25-1196 FAX:0250-25-1266

■ 講師

平山 匡男 氏

新潟薬科大学 客員教授



新潟バイオリサーチパーク(株)顧問  
(株)ブルボン顧問

1968年明治製菓(株)入社後、中央研究室にて医薬品の研究開発、1984年から生物科学研究所にて機能性食品素材の研究開発。2002年明治製菓グループ(株)メイプ常務取締役、2011年(株)ブルボン健康科学研究所長を経て現職。

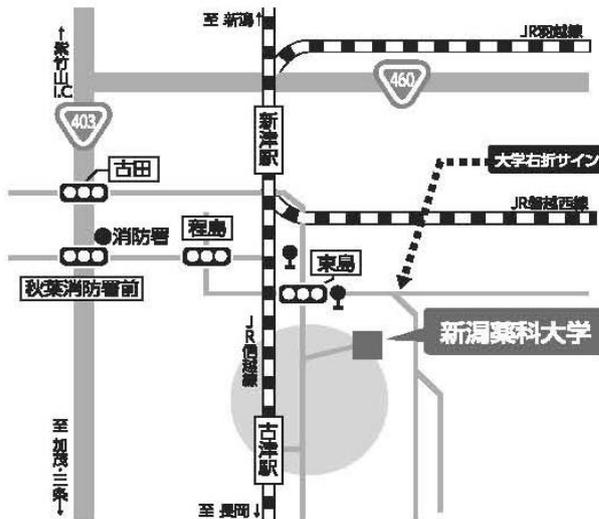
専門領域は「食品の機能性成分の探索と評価全般」で、企業・大学の両立場からの機能性食品開発の実績多数。

- 1968年 横浜国大学院(修士課程)卒
- 1984年 理学博士(東京工業大学)
- 学術論文原報 72報
- 著書(含む分担執筆) 10冊
- 学術論文総説 14報

■ 会場

新潟薬科大学 3F B303講義室

〒956-8603 新潟市秋葉区東島265番地1



※駐車場は、新潟薬科大「坂の上学生駐車場」をご利用ください  
※最寄駅JR信越線「古津駅」から徒歩10分

➔ <参加申込書> 参加ご希望の方は、下記に必要事項をご記入のうえ、FAX送信してください

新潟バイオリサーチパーク(株) 武蔵谷/後藤行き

**FAX** 0250-25-1266

企業名		住所	
TEL		FAX	
役職(所属)		参加者氏名	
Eメール		受講に関するご連絡をする場合がございますので、申込代表者のアドレスをご記入ください。	

※記入いただいた氏名、会社名等の個人情報は、主催者、実施者及び講師が受講確認、受講者への連絡、今後の講習会等のご案内のみに利用します。  
この企画は、「新潟県起業支援型地域雇用創造事業」の補助を受けて開催いたします。

【お問い合わせ先】 新潟バイオリサーチパーク(株) 事務局 武蔵谷/後藤 TEL 0250-25-1196  
[musashi@nbrp.co.jp](mailto:musashi@nbrp.co.jp) / [goto@nbrp.co.jp](mailto:goto@nbrp.co.jp)

機能性食品の評価にお使いいただける測定装置を揃えた『オープンラボ』も開設中！

新潟BRP

検索